

野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド (野村SMA向け)

運用報告書(全体版)

第10期(決算日2023年2月10日)

作成対象期間(2022年2月11日～2023年2月10日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2013年12月4日以降、無期限とします。	
運用方針	世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)受益証券を通じて、主として日本を含む世界先進主要国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として運用を行なうことを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、当ファンドにおいては原則として為替ヘッジを行ないません。	
主な投資対象	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMA向け)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SMA向け)	株式への直接投資は行ないません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。 株式への投資は転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近５期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			参 考 指 標	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分	み 騰 落	中 率				
	円	円	%	%	%	%		百万円
6期(2019年2月12日)	10,373	10	0.8	△0.08	80.3	—		7,500
7期(2020年2月10日)	10,641	10	2.7	△0.11	70.2	—		8,834
8期(2021年2月10日)	10,707	10	0.7	△0.09	75.1	—		12,493
9期(2022年2月10日)	10,301	10	△3.7	△0.05	61.0	—		12,963
10期(2023年2月10日)	9,867	0	△4.2	0.07	75.1	—		12,258

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指標は2021年12月末まで1ヵ月円LIBORを使用しておりましたが、2022年1月からは1ヵ月円TIBORに変更しております。参考指標の騰落率は、1ヵ月円LIBORと1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		参 考 指 標	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落	率			
(期 首) 2022年2月10日	円	%	%	%	%	%
	10,301	—	—	—	61.0	—
2月末	10,272	△0.3	0.00	62.3	—	—
3月末	10,150	△1.5	0.01	66.8	—	—
4月末	10,100	△2.0	0.02	72.7	—	—
5月末	10,077	△2.2	0.02	75.3	—	—
6月末	9,985	△3.1	0.03	58.9	—	—
7月末	10,062	△2.3	0.04	60.5	—	—
8月末	9,976	△3.2	0.04	72.0	—	—
9月末	9,859	△4.3	0.05	69.0	—	—
10月末	9,884	△4.0	0.06	74.4	—	—
11月末	9,923	△3.7	0.06	71.6	—	—
12月末	9,848	△4.4	0.07	64.9	—	—
2023年1月末	9,887	△4.0	0.07	69.9	—	—
(期 末) 2023年2月10日	9,867	△4.2	0.07	75.1	—	—

* 騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：10,301円

期 末：9,867円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△4.2%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2022年2月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指標は、1ヵ月円TIBORであり、利率表示のため、基準価額と併記する形でのグラフ掲載はしていません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は4.21%の下落

基準価額は、期首10,301円から期末9,867円に434円の値下がりとなりました。

（上昇）債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

（上昇）米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

（下落）債券利回りが上昇（価格は下落）したことによるキャピタルロス（値下がり損）。

（下落）欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。

（下落）対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○投資環境

債券市場＜国債利回りは米国・ドイツ・日本で上昇＞

米国市場では、FRB（米連邦準備制度理事会）が2022年3月に利上げに踏み切り、その後も、高いインフレ率を背景に1回あたりの利上げ幅を拡大させるなど積極的な金融引き締めを継続したことなどから、債券利回りは上昇しました。

ユーロ圏では、インフレが高止まりを続ける中で、ECB（欧州中央銀行）が2022年7月に0.5%の利上げを実施するなどこれまでの緩和的な金融政策から転換を見せ、その後も、金融引き締めを継続したことなどから、ドイツの債券利回りは上昇しました。

日本では、海外の中央銀行が金融引き締めを進める中で、日銀の緩和的な金融政策の将来的な転換の可能性が市場で意識されたことなどから、超長期債を中心に、利回りは上昇基調で推移しました。日銀が2022年12月の決定会合において、ゼロ%程度で推移させることを目指す10年国債利回りの変動許容幅を従来よりも広い上下0.5%へと拡大したことも、債券利回り上昇の動きを後押ししました。

為替市場＜米ドル、ユーロは円に対して上昇＞

日本政府・日銀による為替介入や日銀の金融引き締め方向での政策修正の可能性が市場で意識されたことなどを背景に、米ドルやユーロが円に対して下落する局面はあったものの、期を通じては、海外の中央銀行が積極的な金融引き締めを続けたことなどを背景に、米ドルやユーロは円に対して上昇しました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）〕

期を通じて〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕 受益証券の組入比率を高位に維持しました。

〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを2.0～4.0年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～8％程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるための短・中期債への投資に加えて、利息収入を期待できる長期債にも投資しました。

※外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円TIBORの収益率※が+0.07%となったのに対し、基準価額の騰落率は-4.21%となりました。

※期中における1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

（主なプラス要因）

債券を保有していたことによるインカムゲイン。

米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

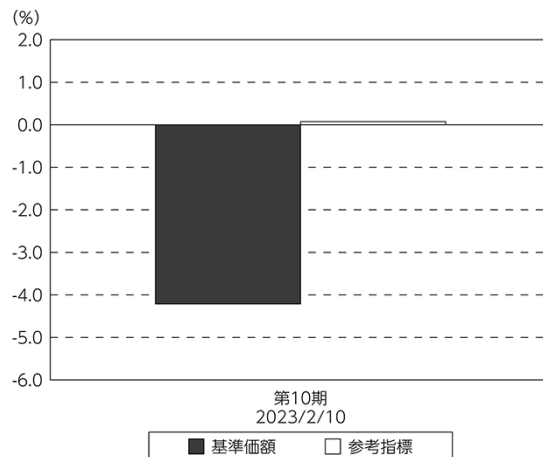
（主なマイナス要因）

債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。

欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

基準価額と参考指標の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指標は、1ヵ月円TIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

◎分配金

当期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、分配金のお支払いを見送りました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1 万口当たり・税込み）

項 目	第10期
	2022年2月11日～ 2023年2月10日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1, 272

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

〔野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）〕

〔世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド〕 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月11日～2023年 2 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	53	0.528	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(44)	(0.440)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(6)	(0.055)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	54	0.536	
期中の平均基準価額は、10,001円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

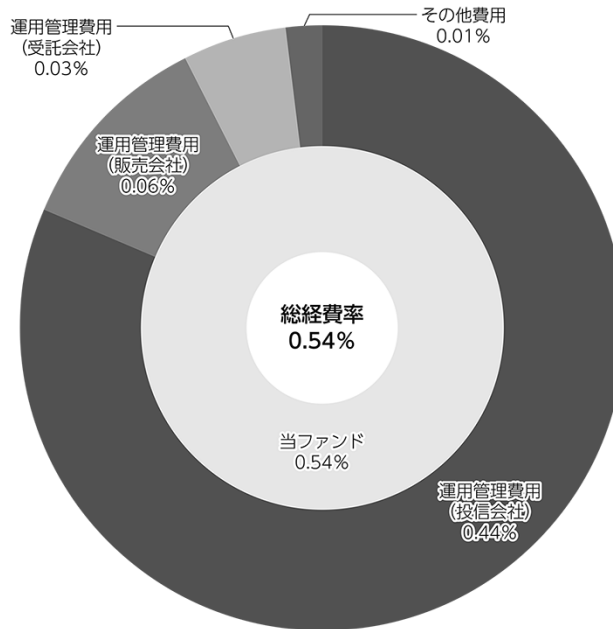
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.54%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年2月11日～2023年2月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド		25,130	32,400	202,755	260,000

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年2月11日～2023年2月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年2月10日現在）

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド		9,872,322	9,694,697	12,246,342

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2023年2月10日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド	12,246,342	99.6
コール・ローン等、その他	45,053	0.4
投資信託財産総額	12,291,395	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（19,832,214千円）の投資信託財産総額（33,561,124千円）に対する比率は59.1%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=131.71円、1カナダドル=97.89円、1英ポンド=159.57円、1スウェーデンクローナ=12.72円、1ノルウェークローネ=12.94円、1ユーロ=141.31円、1ズロチ=29.7113円、1シンガポールドル=99.37円、1リンギ=30.4373円、1豪ドル=91.37円、1ニュージーランドドル=83.33円、1新シェケル=37.5908円、1メキシコペソ=7.0154円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年2月10日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,291,395,646
コール・ローン等	44,753,527
世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド(評価額)	12,246,342,119
未収入金	300,000
(B) 負債	32,954,502
未払信託報酬	32,817,779
未払利息	41
その他未払費用	136,682
(C) 純資産総額(A－B)	12,258,441,144
元本	12,423,613,565
次期繰越損益金	△ 165,172,421
(D) 受益権総口数	12,423,613,565口
1万口当たり基準価額(C／D)	9,867円

(注) 期首元本額は12,585,003,580円、期中追加設定元本額は33,323,651円、期中一部解約元本額は194,713,666円、1口当たり純資産額は0.9867円です。

○損益の状況（2022年2月11日～2023年2月10日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 7,247
支払利息	△ 7,247
(B) 有価証券売買損益	△ 472,005,123
売買益	4,210,474
売買損	△ 476,215,597
(C) 信託報酬等	△ 66,207,306
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 538,219,676
(E) 前期繰越損益金	△ 205,121,385
(F) 追加信託差損益金	578,168,640
(配当等相当額)	(1,073,437,428)
(売買損益相当額)	(△ 495,268,788)
(G) 計(D＋E＋F)	△ 165,172,421
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	△ 165,172,421
追加信託差損益金	578,168,640
(配当等相当額)	(1,073,473,840)
(売買損益相当額)	(△ 495,305,200)
分配準備積立金	507,427,265
繰越損益金	△1,250,768,326

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2022年2月11日～2023年2月10日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2022年2月11日～ 2023年2月10日
a. 配当等収益(経費控除後)	97,385,945円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,073,473,840円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	410,041,320円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	1,580,901,105円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,272円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万口当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。
※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型 マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日2023年2月10日）

作成対象期間（2022年2月11日～2023年2月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をはかることを目的として、運用を行なうことを基本とします。 公社債への投資にあたっては、流動性の高い高格付の公社債に投資することを基本とし、為替ヘッジベースでの利回り水準、各国の金利見通し等を勘案してポートフォリオを構築することで、収益の確保を目指します。さらに、カントリーアロケーション、デュレーションおよび為替ヘッジ比率をアクティブに変更することで、収益の獲得および利回りの向上を目指します。なお、先物取引等も適宜活用します。 邦貨建て資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジ（他通貨による代替ヘッジを含みます。）を行なった資産の額との合計額（実質的な邦貨建て資産の額）については、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度に維持することを基本とします。なお、外貨建資産の他通貨による代替ヘッジについては、信託財産の純資産総額の10%程度の範囲内で行ないます。
主な投資対象	日本を含む世界先進主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		参 考 指 標	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰	中 落 率				
	円		%	%	%	%	百万円
14期(2019年 2 月12日)	12,956		1.3	△0.08	80.4	—	25,578
15期(2020年 2 月10日)	13,377		3.2	△0.11	70.2	—	26,857
16期(2021年 2 月10日)	13,551		1.3	△0.09	75.2	—	32,258
17期(2022年 2 月10日)	13,118		△3.2	△0.05	61.1	—	31,299
18期(2023年 2 月10日)	12,632		△3.7	0.07	75.2	—	29,521

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指標は2021年12月末まで 1 ヶ月円LIBORを使用しておりましたが、2022年 1 月からは 1 ヶ月円TIBORに変更しております。参考指標の騰落率は、1 ヶ月円LIBORと 1 ヶ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したものです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

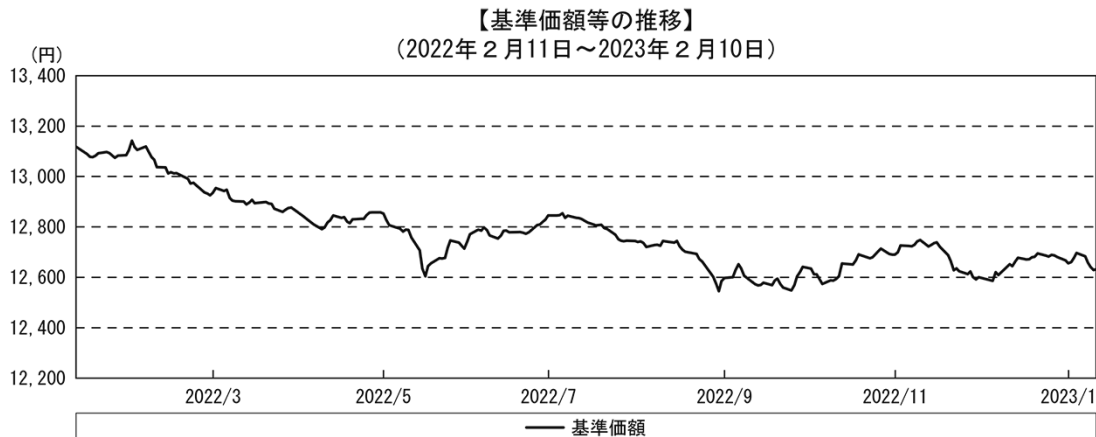
年 月 日	基 準	価 額		参 考 指 標	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率				
(期 首)	円		%	%	%	%	%
2022年 2 月10日	13,118		—	—	61.1	—	—
2 月末	13,085		△0.3	0.00	62.4	—	—
3 月末	12,935		△1.4	0.01	66.9	—	—
4 月末	12,877		△1.8	0.02	72.8	—	—
5 月末	12,853		△2.0	0.02	75.3	—	—
6 月末	12,742		△2.9	0.03	59.0	—	—
7 月末	12,845		△2.1	0.04	60.5	—	—
8 月末	12,742		△2.9	0.04	72.0	—	—
9 月末	12,597		△4.0	0.05	69.1	—	—
10月末	12,635		△3.7	0.06	74.4	—	—
11月末	12,690		△3.3	0.06	71.6	—	—
12月末	12,600		△3.9	0.07	65.0	—	—
2023年 1 月末	12,656		△3.5	0.07	70.0	—	—
(期 末)							
2023年 2 月10日	12,632		△3.7	0.07	75.2	—	—

* 騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指標は、1ヵ月円TIBORであり、利率表示のため、基準価額と併記する形でグラフ掲載はしていません。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は3.70%の下落

基準価額は、期首13,118円から期末12,632円に、486円の値下がりとなりました。

(上昇) 債券を保有していたことによる、インカムゲイン（利息収入）。

(上昇) 米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

(下落) 債券利回りが上昇（価格は下落）したことによるキャピタルロス（値下がり損）。

(下落) 欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト（金利差相当分の費用）。

○当ファンドのポートフォリオ

米国、欧州（ユーロ圏・英国）、日本の国債などに分散投資を行ない、デュレーションを2.0～4.0年程度としました。通貨変動リスクを低減するために、ファンド全体の外貨エクスポージャー※はおおむね1～8%程度と低位に維持しました。年限別では、安定した収益の確保をはかるための短・中期債への投資に加えて、利息収入を期待できる長期債にも投資しました。

※ 外貨エクスポージャーとは、外貨建純資産のうち為替ヘッジを行なわなかった額の純資産に対する比率。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

参考指標としている1ヵ月円TIBORの収益率※が+0.07%となったのに対し、基準価額の騰落率は-3.70%となりました。

※ 期中における1ヵ月円TIBORをもとに当社が独自に累積再投資して算出したもの。

(主なプラス要因)

債券を保有していたことによるインカムゲイン。

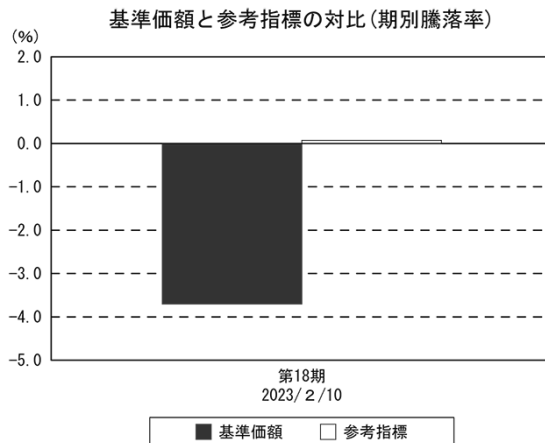
米ドルが円に対して上昇したことによる為替差益。

(主なマイナス要因)

債券利回りが上昇したことによるキャピタルロス。

欧州通貨が米ドルに対して下落したことによる為替差損。

対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。



(注) 参考指標は、1ヵ月円TIBORです。騰落率は、当社が独自に累積再投資して算出したものです。

◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続き地域や銘柄の分散に配慮しつつ、安定的な収益の確保をはかるために金利リスクを適切に調整した運用を行ないます。邦貨建資産の額と外貨建資産のうち為替ヘッジを行なった資産の額との合計額は、原則として信託財産の純資産総額の90%±10%程度の範囲内で、市場見通しに応じて調整を行ないます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 2 月11日～2023年 2 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.006	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.006	
期中の平均基準価額は、12,771円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 *各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年 2 月11日～2023年 2 月10日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国 内			千円	千円
	国債証券		7,280,897	10,350,868
	特殊債券		505,080	—
外 国	アメリカ	国債証券	千米ドル 174,104	千米ドル 142,041
		特殊債券	2,537	—
		社債券（投資法人債券を含む）	—	—
				(3,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 6,264	千カナダドル 3,553
		地方債証券	—	18,220
		特殊債券	—	4,333
	イギリス	国債証券	千英ポンド 4,543	千英ポンド 5,191
		スウェーデン	千スウェーデンクローナ 21,842	千スウェーデンクローナ —
		ノルウェー	千ノルウェークローネ 42,783	千ノルウェークローネ 109,995

			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	34, 526	26, 869
		特殊債券	2, 381	—
	イタリア	国債証券	32, 368	34, 609
				(16, 500)
	フランス	特殊債券	—	910
	スペイン	国債証券	42, 217	16, 004
	ベルギー	国債証券	9, 311	2, 268
	シンガポール		千シンガポールドル	千シンガポールドル
		国債証券	—	898
	マレーシア		千リンギ	千リンギ
		国債証券	19, 001	30, 461
	オーストラリア		千豪ドル	千豪ドル
		国債証券	15, 637	15, 533

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月11日～2023年2月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月10日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
国債証券	千円	千円	%	%	%	%	%
	100,000	104,944	0.4	—	—	0.4	—
	(100,000)	(104,944)	(0.4)	(—)	(—)	(0.4)	(—)
特殊債券 (除く金融債)	700,000	702,675	2.4	—	—	—	2.4
	(700,000)	(702,675)	(2.4)	(—)	(—)	(—)	(2.4)
合 計	800,000	807,619	2.7	—	—	0.4	2.4
	(800,000)	(807,619)	(2.7)	(—)	(—)	(0.4)	(2.4)

* ()内は非上場債で内書きです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* 残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
ポーランド共和国 第13回円貨社債 (2012)	2.5	100,000	104,944	2027/11/8
小 計		100,000	104,944	
特殊債券(除く金融債)				
国際協力機構債券 第18回財投機関債	0.868	500,000	501,531	2023/6/20
フランス預金供託公庫 第4回円貨債券 (2014)	0.725	200,000	201,144	2024/7/30
小 計		700,000	702,675	
合 計		800,000	807,619	

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 37,600	千米ドル 36,307	千円 4,781,997	% 16.2	% —	% 4.2	% 5.5	% 6.5
カナダ	千カナダドル 2,900	千カナダドル 2,861	280,069	0.9	—	—	—	0.9
イギリス	千英ポンド 2,000	千英ポンド 2,152	343,438	1.2	—	1.2	—	—
スウェーデン	千スウェーデンクローナ 22,000	千スウェーデンクローナ 21,745	276,608	0.9	—	—	—	0.9
ノルウェー	千ノルウェークローネ 22,000	千ノルウェークローネ 21,943	283,953	1.0	—	—	—	1.0
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	11,700	10,654	1,505,575	5.1	—	5.1	—	—
イタリア	28,900	28,473	4,023,548	13.6	—	—	—	13.6
スペイン	37,600	37,335	5,275,932	17.9	—	—	1.0	16.9
ベルギー	8,000	6,839	966,461	3.3	—	1.1	2.1	—
オーストラリア	千豪ドル 22,100	千豪ドル 21,086	1,926,683	6.5	—	3.0	3.6	—
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 1,200	千ニュージーランドドル 1,137	94,774	0.3	—	—	—	0.3
メキシコ	千メキシコペソ 249,000	千メキシコペソ 233,279	1,636,547	5.5	—	4.2	1.4	—
合 計	—	—	21,395,590	72.5	—	18.7	13.5	40.2

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	US TREASURY N/B	1.125	13,000	12,190	1,605,550	2025/1/15
		US TREASURY N/B	1.5	13,000	12,259	1,614,646	2025/2/15
		US TREASURY N/B	4.125	2,700	2,795	368,174	2032/11/15
		US TREASURY N/B	4.0	3,200	3,247	427,662	2042/11/15
		US TREASURY N/B	4.0	3,200	3,348	441,030	2052/11/15
	特殊債券 (除く金融債)	JAPAN BANK FOR INTL COOP	3.375	2,500	2,467	324,933	2023/10/31
小 計						4,781,997	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT	2.0	2,900	2,861	280,069	2023/9/1
小 計						280,069	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	国債証券	UK TREASURY	4.25	2,000	2,152	343,438	2032/6/7
小 計						343,438	
スウェーデン				千スウェーデンクローナ	千スウェーデンクローナ		
	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT	1.5	22,000	21,745	276,608	2023/11/13
小 計						276,608	
ノルウェー				千ノルウェークローネ	千ノルウェークローネ		
	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT	2.0	22,000	21,943	283,953	2023/5/24
小 計						283,953	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	1.7	8,700	8,276	1,169,611	2032/8/15
	特殊債券 (除く金融債)	KfW	0.125	3,000	2,377	335,964	2032/1/9
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	2.45	16,500	16,430	2,321,822	2023/10/1
		BUONI POLIENNALI DEL TES	—	10,600	10,306	1,456,349	2024/1/15
		BUONI POLIENNALI DEL TES	—	1,800	1,736	245,376	2024/4/15
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	0.35	20,400	20,174	2,850,812	2023/7/30
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	4.4	14,900	15,048	2,126,563	2023/10/31
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	—	2,300	2,112	298,556	2026/1/31
ベルギー	国債証券	BELGIUM KINGDOM	—	5,000	4,452	629,182	2027/10/22
		BELGIUM KINGDOM	0.35	3,000	2,386	337,278	2032/6/22
小 計						11,771,518	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	特殊債券 (除く金融債)	BNG BANK NV	3.3	4,300	4,071	372,017	2028/7/17
		KOMMUNALBANKEN AS	0.6	4,000	3,563	325,614	2026/6/1
		KOMMUNALBANKEN AS	3.4	3,000	2,853	260,724	2028/7/24
		KOMMUNALBANKEN AS	2.4	3,000	2,613	238,749	2029/11/21
		LANDWIRTSCH. RENTENBANK	4.75	7,800	7,984	729,576	2026/5/6
		小 計					
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	0.5	1,200	1,137	94,774	2024/5/15
小 計						94,774	

銘 柄				当 期 末				
				利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
メキシコ				%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT	5.75	63,000	56,935	399,425	2026/ 3 / 5	
		MEX BONOS DESARR FIX RT	7.75	186,000	176,343	1,237,122	2031/ 5 /29	
小 計		計				1,636,547		
合 計		計				21,395,590		

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年 2 月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	22,203,210	66.2
コール・ローン等、その他	11,357,914	33.8
投資信託財産総額	33,561,124	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産（19,832,214千円）の投資信託財産総額（33,561,124千円）に対する比率は59.1%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=131.71円、1カナダドル=97.89円、1英ポンド=159.57円、1スウェーデンクローナ=12.72円、1ノルウェークローネ=12.94円、1ユーロ=141.31円、1ズロチ=29.7113円、1シンガポールドル=99.37円、1リンギ=30.4373円、1豪ドル=91.37円、1ニュージーランドドル=83.33円、1新シェケル=37.5908円、1メキシコペソ=7.0154円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月10日現在)

項 目	当 期 末 円
(A) 資産	59,003,845,972
コール・ローン等	9,790,118,198
公社債(評価額)	22,203,210,018
未収入金	26,873,320,739
未収利息	104,092,125
前払費用	33,104,892
(B) 負債	29,482,250,912
未払金	29,449,342,384
未払約金	32,900,000
未払利息	8,528
(C) 純資産総額(A－B)	29,521,595,060
元本	23,370,110,817
次期繰越損益金	6,151,484,243
(D) 受益権総口数	23,370,110,817口
1万口当たり基準価額(C／D)	12,632円

(注) 期首元本額は23,860,233,326円、期中追加設定元本額は410,759,138円、期中一部解約元本額は900,881,647円、1口当たり純資産額は1,2632円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SML向け) 9,694,697,688円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(野村SML・EW向け) 8,040,392,546円
- ・世界債券アクティブファンド 為替ヘッジ型(非課税適格機関投資家専用) 4,813,855,824円
- ・オルクエジャー・ファクター・アロケーション・オープン・投資(適格機関投資家専用) 678,553,868円
- ・野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド(運用切り替え機能付・限定追加型) 142,610,891円

○損益の状況 (2022年2月11日～2023年2月10日)

項 目	当 期 円
(A) 配当等収益	397,436,444
受取利息	400,243,853
支払利息	△ 2,807,409
(B) 有価証券売買損益	△1,547,629,067
売買益	4,657,288,430
売買損	△6,204,917,497
(C) 保管費用等	△ 1,714,264
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,151,906,887
(E) 前期繰越損益金	7,438,768,621
(F) 追加信託差損益金	114,640,862
(G) 解約差損益金	△ 250,018,353
(H) 計(D+E+F+G)	6,151,484,243
次期繰越損益金(H)	6,151,484,243

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。